

駒場

1995

東京大学教養学部



KOMABA 1995

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

**[駒場]1995**

#### 表紙について

---

橋本雅邦

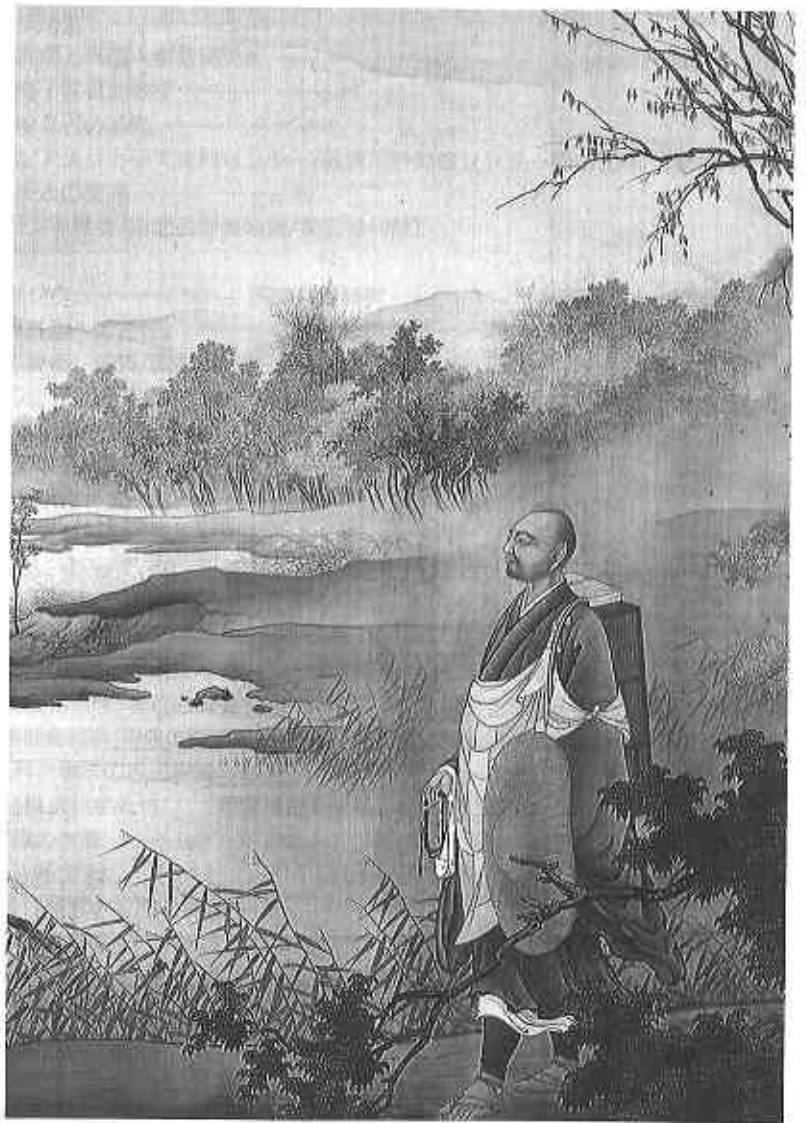
西行法師之圖（部分）

（1892年作、218×370cm、絹本着色）

橋本雅邦（1835-1908）57歳の作。当時雅邦は、すでに東京美術学校（現在の東京芸術大学の前身）教授で帝室技芸員という日本画壇における最高の地位にあった。雅邦の円熟期を飾るこの作品は、いうまでもなく、西行の『山家集』中の有名な一歌「心なき身にも哀は知られけり鳴立つ澤の秋の夕暮」に材を取り、遍歴の旅の途中、飛び立つ鳴を眺めつつたずむ西行を描いたものである。原画では西行の姿は、中央やや右寄りにむしろ小さめに描かれ、沢を中心とする遠景の広がり強調する構図によって、いわゆる「三夕の歌」の一つと称される西行の原歌の雰囲気を見事に造形化している。静謐にして高雅なその全体の画調は、小堀桂一郎氏（東京大学教養学部『紀要 比較文化研究』第14輯、28頁）も言うように、「清廉高潔にして、一代の師表たるに足る」と評される雅邦その人の人柄の現れでもあろう。制作された年（明治25年）に、当時の第一高等中学校（第一高等学校の前身）の校長木下廣次の発議により、倫理講堂と歴史参考室の展示用に他の数点の歴史画とともに購入され、一高図書館に引き継がれた。現在は本学部美術博物館に所蔵されている。写真撮影・鈴木昭夫氏。

COLLEGE OF ARTS AND SCIENCES  
THE UNIVERSITY OF TOKYO, KOMABA

# [駒場]1995



東京大学教養学部

# 【駒場】1995

## 東京大学教養学部

### ●目次

まえがき	7
教養学部のシュトゥルム・ドラング時代	8
I 教養学部はどのような組織か	
1 教養学部の沿革と現状	12
2 各種委員会	28
3 人事—任用と昇進	33
4 予算の現状と問題点	35
5 キャンパスの現状と将来計画	36
6 職員の組織と現状および将来像	38
7 助手と技術官	40
8 外国人教師と外国人客員研究員	42
9 客員教授・客員助教授	44
10 附属施設などの活動 (図書館/アメリカ研究資料センター/教育用計算機センター駒場支所/視聴覚ホール)	45
11 地域社会との関連 (オルガン委員会/自然科学博物館/美術博物館)	49
付属資料1	
国際シンポジウム	56
国際共同研究	57
招聘教授	59
交換教授(外国への赴任)	61
招聘講演	62
学外からの評価 国外/国内(叙勲/受賞)	66
研究活動の公表 紀要/定期刊行物	70
平成6年度科学研究費配分一覧	73
平成7年度科学研究費配分一覧	81
平成6年度奨学寄付金一覧	93
平成7年度奨学寄付金一覧	96
II 重点化によって大学院総合文化研究科はどのように変わったか、 また後期課程ではどのような改革が検討されているか	
1 大学院重点化計画の達成	100
2 新しい専攻の概要と既設専攻・系の年次報告および自己評価	113
Ⅰ「超域文化科学」専攻の概要	113
Ⅱ「地域文化研究」専攻の概要	119
Ⅲ「国際社会科学」専攻の概要	123
Ⅳ言語情報科学専攻の自己評価	125
Ⅴ広域科学専攻の自己評価	128
生命環境科学系131 相関基礎科学系140 広域システム科学系144	
3 後期課程の改革	148
III 教養学部では、誰がどのように研究教育を行っているのか 教養学部専任教官の経歴と業績	168
([駒場] フォーラム 175,207,251,283,303,327)	
IV 教養学部ではどんな学生が、どのようにして学んでいるのか	
1 学生選抜の方式	344
2 カリキュラム 前期課程/後期課程/大学院	348
3 進学情報センター	377
4 留学生相談室と外国人留学生の現状	381
5 短期交換留学(AIKOM)プログラム—報告と展望	383
6 学生相談所の活動	386
7 保健センター(駒場支所)	387
8 学生宿舎、学生会館、課外活動施設	389
付属資料2	
平成7年度志願、合格、入学状況	392
定員の推移	393
平成7年度クラス編成表(1年/2年)	394
外国人研究生	396